



Gesuido Joshi Journal
GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン

創刊号

Contents

- 3 創刊にあたり
- 4 GJ Journal 紹介
- 6 エコプロダクツ 2015 出展 (創刊号オリジナル特集記事)
- 8 GJ のつぶやき
- 9 今月の一冊
- 10 GKP HOTNEWS
- 11 GJ Information
- 12 今月の表紙
- 12 編集後記
- 13 次号予告

下水道女子を盛り上げるマガジン GJ Journal、ついに創刊

「下水道分野で働く女性の会（GJリンク）」は、下水道関連企業で働くある女性社員の想いがきっかけとなって生まれました。下水道界では同じ職場に女性がいることはとても少なく、女性同士交流する機会が少ない。同じ悩みを共有し、共感し、互いを高めあうような場がほしい。同じ想いをもつ女性職員は少なくないはず！平成25年5月、その想いをカタチにすべく、女性同士の繋がりを支援する場としてGJリンクが始まったのです。

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも女性の活躍が欠かせません。下水道事業に携わっている女性たちが、「つながる」こと、「情報発信」や「企画・運営」のスキルアップを図ることで、未来の下水道の発展に貢献することができるのです。

下水道分野で女性たちがもっと活躍するために、私たちに何ができるでしょうか？

GJリンクでは、「やれる人が、やれる時に、やれることを」というモットーのもと、

- 今、下水道分野で働いている女性たちが、「仕事を楽しむ」こと。
- 女性同士、仕事の楽しさについて共感し合うことで、もっと楽しみを増やすこと。
- 楽しく仕事する様子を、多くの人に知って頂くこと。
- そんな風にみな楽しく仕事している「下水道」のことを、多くの人に知って頂くこと。

をめざして、『下水道分野で働く女性のマガジン～GJ Journal』を発行することにいたしました。

広報のプロではないメンバーたちですが、GJ Journalでは、一人ひとりが楽しみながら情報発信していきます。読者の皆様にも、この楽しい気持ちが伝わりますように！



下水道広報プラットフォーム
企画運営委員
阿部千雅

GJ Journal 紹介

GJ Journal は、女性の視点で幅広い下水道利用者に下水道のことを伝えるために誕生したフリーマガジンです。下水道が秘める大いなるチカラ、さらにはその魅力を、下水道分野で働く女性たちがリアルな声で語ります。

地下にあり、存在そのものが忘れられがちである下水道。
GJ Journal が地下と地上を繋ぐきっかけを与えられればと考えています。

特徴

■ 業界問わず楽しめるコンテンツ

専門的な用語をできるだけ使用せず、下水道初心者でもわかりやすい内容としています。

■ 地域ごとの発行

地域(ブロック)別の発行になるので、自分の住んでいる地域はもちろん、自分の興味のある地域の情報も収集できます。

■ PC やタブレットからも気軽に読める

電子版での発行になるため、場所を問わずいつでもどこでも閲覧できます。

— 媒体概要 —

- 発行 概ね隔月発行
- 体裁 A4 版
- 流通形態 電子版を GKP ホームページに掲載
- ターゲット 下水道利用者、下水道関係者、学生

1 私の下水道 下水道女子が伝える下水道の魅力

下水道分野で働く女性ならではの視点で、下水道女子が下水道の魅力を伝えます。

下水道分野で働く上で感じた仕事の遣り甲斐や達成感。自分が働く下水道施設の特徴。下水道分野で働く女子のリアルな姿。読み手に下水道を「自分ごと」として捉えてもらえるように、下水道女子がわかりやすく伝えます！

また、下水道の情報のみならず、住んでいる場所や働いている職場の魅力なども、「わが町自慢」・「わが社自慢」で紹介します。



下水道をより多くの人に知ってもらいたい!!

2 地域別特集 地域ならではの下水道

地域ならではの下水道事情
を読者の皆さんに知っていた
くため、各地域（ブロック）
の編集委員が地域別のオリジ
ナル特集記事を企画。



自分たちが住んでいる地域
にはない下水道施設や下水道
事情があるかもしれません！



4 今月の一冊 事務局がオススメする書籍を紹介

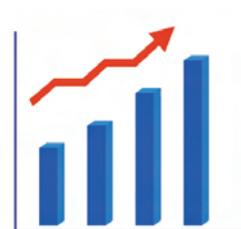
GJ Journal 事務局で作成す
る「今月の一冊」。
ここでは、女性のキャリア
アップに役立つような書籍
や、下水道初心者からベテラ
ンまでが楽しめる下水道関連
の書籍を紹介します。

皆さまのオススメ書籍があ
れば事務局までご連絡くださ
い。



3 GJのつぶやき & 基礎データ 下水道女子が伝える下水道の魅力

「GJのつぶやき」では、下
水道女子達が、下水道分野で
働く中でのちょっとしたエピ
ソードや想いを、つぶやき形
式で紹介します。



「基礎データ」では、全国
にたくさんいる下水道女子の
属性やニーズを紹介します。



5 その他のページ 小ネタがいっぱい

その他にも、下水道女子の生態を明らかにした「下水道女子のトリセツ」、下水道を傷めない家事の工夫を紹介した「下水道に優しい家事のポイント」、街で見かけたマンホールを紹介する「よろずマンホール」、電車から見える下水道施設を紹介する「電車からチラリと見える下水道施設」などの下水道に関する小ネタの他、GJリンクの母体である下水道広報プラットフォーム (GKP) の最新情報や下水道女子の自主活動の紹介まで、隙間時間に楽しめるコンテンツを取り揃えています。



創刊号オリジナル特集記事

下水道広報プラットフォーム

エコプロダクツ 2015 で下水道のアピール

ー未来を担う子供たちへ水循環の大切さを伝えるー

2015年12月10日（木）～12日（土）に、東京ビッグサイト（有明）にてエコプロダクツ 2015 が開催されました。今年で17回目を迎える本年度のエコプロダクツは、3日間で17万人近い来場者が訪れ、子どもからお年寄りまで連日幅広い層の来場者で賑わっていました。



コンパニオンロボット「NAO（ナオ）」の前に集まる小学生たち

「水循環」を通して上下水道の役割と価値を学ぶブース

本年度の展示会では、「環境とエネルギーの未来を拓く～水素社会」をテーマに、水素社会の社会的受容を図るべく「水素社会企画」を設け、燃料電池自動車や水素ステーション、自治体の水素社会への取組みが紹介され、来場者も水素への関心が高まりました。また、再生可能エネルギーとしての下水道の価値を来場者に知っていただく格好の機会となりました。

下水道水道広報プラットフォーム（GKP）にとって、エコプロダクツへの参加は本年度で4度目です。本年度も、毎年エコプロダクツに出展しているメタウォーター株式会社と一体的にブースを構え、「水をめぐる冒険ー飲み水はどこから来る？使った水はどこへ行く」と題し、水循環を学びながら上下水道の重要な役割を「見て」「聞いて」「感じて」学べる体験型ブースを展開しました。

水の冒険のスタート地点には、コンパニオンロボット「NAO（ナオ）」がお出迎え。水の循環を表現したパネルの横で、飲み水がどこから来るのか、使った水はどこに行くのか来場者に向けて問いかけます。NAOに見送られた後、「森林ゾーン」、「浄水場ゾーン」、「家庭ゾーン」のある上水の冒険スポットへと進んでいきます。上水の冒険スポットでは、水源涵養林による自然浄化のチカラ、水をキレイにするチカラ（砂ろ過/セラミックろ過）、水を届けるチカラ（水道管）を説明するとともに、水源涵養林と砂ろ過のデモを実演しました。

次の冒険スポット「家庭ゾーン」では、トイレやお風呂の実機展示のほか、家庭で1日どれくらいの水を使用するのかをペットボトルの本数で表示したパネル展示により、家庭では毎日どれだけの水が使われているかを具体的に理解してもらいました。

下水道の4つのチカラを学ぶ

次なる冒険スポットは、下水処理場ゾーンです。実物大の下水道管模型をくぐり下水道管をリアルに体験してもらいました。下水の冒険スポットでは、下水道が担う4つのチカラ（街をキレイに保つチカラ、浸水から街を守るチカラ、水環境を守るチカラ、エネルギーを創るチカラ）をわかりやすく説明するとともに、汚れた水をキレイにする微生物達を顕微鏡で実際に子供たちに見てもらいました。

来場した子供たちからは、「微生物が実際に見ることができて面白かった。」「汚れた水がキレイになるってすごい!」「キレイになった水がこうして循環されるんだね。」といった感想がありました。その他にも、下水処理場から生まれた処理水や肥料、バイオガスを利用して作物を育てる取り組みである「ビストロ下水道」を紹介するパネルや、下水汚泥で創られた炭化物で電気が作られることなど、下水道のエキスパート達が下水道の秘めたるチカラを子供たちに紹介しつつ、子供たちが積極的に質問を行っている場面が見られました。

約6000名の来場者がブースを訪問

水をめぐる冒険ブースの来場者は3日間で約6,000人におよび、平日は団体でお越しの園児や小・中学生、土日は家族連れで大盛況となりました。

会期中は、下水道マスコットキャラクタースイスイと、ミス日本水の天使（柴田美奈さん、神田れいみさん、白田美咲さん）が日替わりでブースのナビゲート役に。中でも本年度の水の天使、柴田美奈さんは、子供たちに水の循環について説明し、来場した子供たちは柴田さんの説明に熱心に耳を傾けていました。また、子供たちだけでなくあらゆる世代の方がブースに来場いただき、水の循環を通して上下水道の役割と価値を学んでいただきました。

GKPとしても、上下水道の更なる認知度向上に向けて、

写真左上：マガジン風パネルを読みながらクイズラリーに答える
写真右上：下水管の中で下水の役割を聞く
写真 下：水を浄化するためセラミック膜の説明を受ける

多くの来場者に楽しみながら上下水道を学んでいただけるような企画を引き続き考えていきたいと思っております。

最後になりましたが、エコプロダクツ2015出展に際して協力いただきました後援団体および協賛企業・団体の皆様（以下に記載）、会期中の運営にご尽力いただきましたGKP会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

【主催】

「21世紀の下水道を考える会」協議会（日本下水道協会、日本下水道施設業協会、日本推進技術協会、下水道事業支援センター、日本下水道管路管理業協会、日本建設業連合会、全国上下水道コンサルタント協会、日本下水道施設管理業協会、日本下水道新技術機構、日本下水道光ファイバー技術協会）

【協力】

国土交通省水管理・国土保全局下水道部

【協賛】

東京都下水道局、埼玉県下水道公社、東京都下水道サービス、月島機械(株)、(株)日水コン、(株)フソウ、(株)北海建設工業所、前澤工業(株)、メタウォーター(株)、ラサ商事(株)

【運営協力】

21世紀水倶楽部





-WS 参加者編-

日常の業務の中で、大変だったことや嬉しかったこと、提案したいことなどをつぶやき形式で紹介します。創刊号は、2015年に開催されたGJリンク全国ワークショップの参加者からのつぶやきです。

目に見えない下水道の広報、難しい！
(中部 C.T.)

下水道に携わって2年目。下水道自分ゴト化、これからです。
(中部 T.K.)

同じように管の中を水が流れ水処理されるのに、上水道と下水道のイメージの違い…
(九州 Y.J.)

土日に子供と参加できる見学ツアーがあればうれしいです。夏休みだけでなく。
(関東 M.H.)

子育てに奮闘中。
(関東 T.I.)

配属されるまで関心がなかった(薄かった)のは自分だけじゃなくてよかった♪
(関東 M.U.)

オシャレな(絵になる)下水道施設で写真撮影会なんてどうでしょうか。
(北陸 N.K.)

油をふく、など排水管を大切にすることは、下水道の仕事に携わったから。
(中部 Y.T.)

下水道がないと生活できない…
(中部 Y.T.)

広報担当なので、もっと頑張ろうと思いました。下水道の可能性の大きさはすごいと思います。
(関東 Y.S.)

課に女子1名でさみしい。子育てしながらの仕事も大変。
(関東 Y.M.)

「作業着姿のお母さんは、お父さんみたいでカッコイイ」と言われた。ほめられているのか？(笑)
(関東 E.T.)

下水道女子がお薦めする

今月の一冊



下水道業界で働く女子がオススメする 今月の一冊

ここでは、女性のキャリアアップに役立つような書籍を紹介します。



継続は力なり

女性土木技術者のためのキャリアガイド

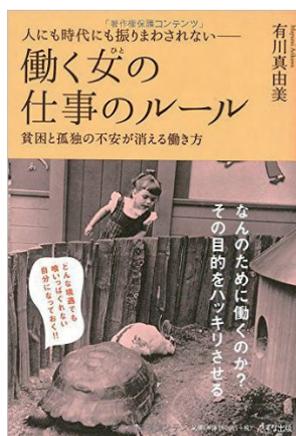
編集：公益社団法人 土木学会 ダイバーシティ推進小委員会（編）

多様な分野、経歴、年代の10名の女性土木技術者が語る「仕事における最大の危機」や「アドバイス」、アンケート調査によるQ&A等々により、多様なロールモデルの情報を提供します。

本書は、既にキャリアをスタートさせた女性土木技術者、これから土木技術者になることを目指す女子学生、そして、彼女たちを支援する職場や学校のスタッフの方々などを主な対象としています。土木技術者として、女性として、現状に戸惑ったときや将来に不安を感じたときに手に取って下さい。本書には問題解決の参考となる数多くの事例や背中を押してくれるメッセージが詰まっています。

出版社：（公社）土木学会（2013/1/31）

価格：1,800円（税抜）



人にも時代にも振りまわされないー

働く女の仕事のルール

貧困と孤独の不安が消える働き方

有川真由美（著）

「女性が生涯働き続ける時代になろうとしています。自分自身が満足感や幸福感を味わえる道でないといふ歩き続けられないでしょう？」（まえがきより）

本書には、「幸せに生きるために仕事をする」にはどうすればよいかのメッセージが詰まっています。つい目の前の仕事に追われてしまいがちな日々、忘れがちな「なんのために、何を指して、どんなふうに関わりたいのか」を再び考えさせてくれる1冊です。

出版社：きずな出版（2015/10/16）

価格：1,400円（税抜）



大いなる可能性を秘めた

下水道のミライ

有川真由美（著）

2013年に話題となった「Pen+ 下水道のチカラ」に続く第二弾。下水処理施設で生じた汚泥から水素を取り出し、自動車の燃料として供給する水素自動車の紹介や、クルマや食等の異分野コラボレーション、下水道界隈に増殖しているディープな人々（ミスター下水道・江戸家猫八師匠、芸人レイザーラモンRGさん、マンホラー）、下水道で輝く女性などを紹介。

出版社：CCCメディアハウス（2015/3/24）

価格：950円（税抜）

GKP HOTNEWS



下水道広報プラットフォーム

イベント

関西マンホールサミット 2015 開催 —約 300 名のマンホールファンや市民が集う—

平成 27 年 11 月 28 日（土）、神戸市の東水環境センターで関西初となるマンホールサミットが開催されました。

「下水道の未来を体感する！」をテーマに、午前中は下水汚泥からバイオガスを生成する施設がある神戸市東灘下水処理場の施設見学を実施し、来場者たちは下水道への理解を深めていました。マンホールサミットでは、マンホールを愛する発表者達が個性豊かなトークを展開。「発表者のマンホール愛を感じた」、「マンホールを通じて地域の文化等話題が広がって面白く聞けた」という来場者からの声がありました。当日は、マンホール蓋鉄板焼きの実演販売も施され、蓋の上で焼かれた肉や野菜を求めて長い行列ができていました。

次のマンホールサミットは、今年 3 月に関東で開催の予定です。

ワークショップ

木更津高专× GKP 未来会 “水ビジネスと下水道”ワークショップ

平成 27 年 11 月 20 日（金）、千葉県木更津市にて GKP「下水道を未来へつなげる会」（以下未来会）が参加型ワークショップを開催しました。

本ワークショップは、下水道を知っていただくことを目的に、今回木更津高专と共催で開催されました。当日はワークショップに加え、木更津下水処理場の施設見学もあり、学生からは「初めて見る下水処理場にとっても興味をもった」、「下水処理場の仕組みを知ることができてよかった」など、より身近に下水道を感じてもらえる良い機会となりました。

イベント

G K P 特別フォーラム開催 —経営トップが若手職員に熱〜いメッセージ—

平成 27 年 12 月 7 日（月）、（公社）日本下水道協会にて GKP 特別フォーラム「下水道界未来の道標—若手職員へのメッセージ」が開催されました。

ゲストにお迎えしたのは、強力なリーダーシップで下水道業界をリードされる 4 氏。業界を代表する経験豊富な経営陣から若い世代に向けて熱いメッセージを伝えていただきました。新下水道ビジョンの策定や下水道法の改正など、下水道事業の新しい展開の検討が進む中、4 氏の未来に向けた展望に思わず唖らされるような深い話や、4 氏のお人柄がわかるようなプライベートの話も展開され、若手職員達は 4 氏のトークに熱心に耳を傾けていました。

【登壇者】

管清工業株式会社代表取締役社長：長谷川健司氏

月島テクノメンテサービス株式会社代表取締役社長：服部博光氏

株式会社日水コン代表取締役社長：野村喜一氏

メタウォーター株式会社代表取締役会長：松木晴雄氏



国土交通省下水道部からの



のメッセージ

「大切なものは、目に見えない」とは星の王子様の言葉ですね。目に見えない下水道の無限のチカラで、下水道界の職員と地域住民が「笑顔」いっぱいになるようにしたいです。とりあえずは、GJ リンクよりも「笑い」がとれるように体を張ります！



ビストロ下水道でハロウィン



流総パイブル少年



変態下水道の駅伝

GJ Column では、毎月皆さんに役立つちょっとした小ネタを紹介していきます。

時間のある時に読んでみてください。

皆さんの生活に下水道が少しだけ近づいた気分になるかもしれません。

全国ご当地マンホール
よろずマンホール



Vol.1

ユニバーサルスタジオのマンホール

ユニバーサルスタジオで見つけたマンホール。ユニバーサルスタジオのマンホールはエリア毎にデザインが異なり、見る人を楽しませてくれます。さらには、デザインだけでなく古くみせるためのエイジングまで施されています。古くみせることによって映画の中の日常を作り出している、細かいところにまでこだわったハリウッドの世界がここにあります。ユニバーサルスタジオに行ったら、USJのマンホールをお楽しみください。



オンもオフも楽しみたい！

下水道女子の
自主活動紹介



2015年12月某日夜、東京大手町の飲食店にて、GJリンクの事務局メンバーの数名が集結。来年度も張り切って活動していくことを確認しあいました。

また、仕事で思わず「ムッ！」としてしまったときの対処方法について情報共有。詳しく知りたい方は、事務局までこっそりお問い合わせくださいね♪

電車から見える下水道施設



Vol.1

森ヶ崎水再生センター

東京都大田区

東京の羽田空港から東京モノレールに乗って「昭和鳥駅」近くを通るとき、車窓から東京都下水道局さんの「森ヶ崎水再生センター」が見えます。東京都HPによれば、この下水処理場は日本最大だそうですよ。今度東京モノレールに乗車される際はぜひ、探してみてくださいね！



写真：森ヶ崎水再生センター屋上に飛来したコアジサシ

<http://www.gesui.metro.tokyo.jp/jigyuu/kanho/morisen/morisen10.htm>

下水道女子の
トリセツ その1



マンホールの蓋や側溝の蓋は開けられるようにしたいけれど、1つ開ければ満足します。あとは手伝ってくださいね。

～下水道に優しい家事のポイント～
vol.1 リメイクレシピの掲載

少しだけ残ってしまった味噌汁やラーメンの汁、煮汁などは何気なく排水口に流して捨ててしまっている方も多いと思います。

これらの残ってしまった汁物を流して捨ててしまうと、下水道にどれだけの負荷がかかるかご存知ですか？あるホームページによると、ラーメンの汁

300ml をキレイな水に戻すには、1600mlの水が必要になると記載してあります。

これらの少しだけ残ってしまった汁物をリメイク料理として利用することができること、ご存知でしたか？リメイク料理を作ることで、汚水の負荷を軽減するだけでなく、お財布にも優しい生活が送れて

しまいます。皆さんも是非、リメイク料理で下水道に優しい生活を送ってくださいね。

～リメイクレシピの例～

- ラーメンの汁からリゾットや雑炊
- 肉じゃがの汁からグラタン
- 味噌汁からカレー 等



Cover Photo 今月の表紙

創刊号

全国の下水道女子たち

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道分野の女性の活躍が欠かせません。今月の表紙は、全国で活躍している下水道女子たちを紹介します！

圧倒的多数を男性が占める下水道業界ですが、女性も活躍していらっしゃいます。女性は下水道界において貴重な人材であり、今後業界が持続的に発展していくためにも女性は欠かせない存在です。しかし、女性同士が会える機会が極端に少なく、気軽に話せる女性が少ない、社外に同性の知り合いが少ないという方が多く存在しています。

そこで、下水道広報プラットフォーム (GKP) では、活動目的のひとつである「場の創出」というテーマから、女性同士の繋がりを支援する場として「GJリンク」を立ち上げました。下水道業界に携わる女性たちが、「繋がる」とこと、「情報発信」や「企画・運営」のスキルアップを図ることを通じて、未来の下水道の発展に貢献することを目指します。

創刊号の表紙は、2014年に大阪で開催された「下水道展'14 大阪」にて実施した、「下水道業界で働く女性たちの写真展」にて展示された写真や、昨年開催されたワークショップの写真です。全国各地で頑張っている下水道女子たちを下水道展で紹介するため、全国の下水道女子たちから集まった写真の数々。技術職の方から事務職の方まで、それぞれが自身の仕事にやりがいを感じ、誇りを持って働いている様子が写真から伝わってきます。

GJリンクの活動成果は、今後の下水道政策に活かしていくためにも、国土交通省下水道部企画課からもアドバイザーとして参画いただいています。ぜひ皆さまもGJリンクに参加してみてくださいね。



昨年開催されたGJリンクブロック別ワークショップ近畿にて



下水道展'14 大阪 全国ワークショップにて

編集後記

多くのGJメンバーから寄せていただいたステキなアイデアと事務局Y.Y.さんによるプロ並みのレイアウトによって、カッコいい広報誌ができました！みなさんありがとうございます！！

(編集担当 C.A)

職場を撮影



GJ Journal、いよいよ創刊を迎えました。「下水道業界に入って間もない自分が下水道広報誌の編集を担当しても良いものなのか…。」そんな思いをずっと抱えながら、気付いたら発刊です。頑張ります！

(編集担当 Y.Y)



年末年始に訪れた高野山

Gesuido Joshi Journal

GJ Journal

下水道分野で働く女性のマガジン

次号
予告

北海道特集

次号はいよいよ GJ Journal 地域別特集がスタートします！

トップバッターは北海道。北海道は、GJ リンクの母体である下水道広報プラットフォーム (GKP) の地方版が全国で初めて発足され、産学官の取り組みが積極的に行われている地域です。

現在、北海道の GJ Journal 編集委員たちが、先陣をきって地域別特集「北海道編」を制作中。どんな特集になるのか楽しみです！

お知らせ

GJ Journal は、2015 年に開催された GJ リンクワークショップにて、「GJ リンク発の下水道 PR ツールを作ろう！」という想いを具現化したものです。2 月の北海道特集を皮切りに、2 か月ごとに発刊予定です。

編集より

GJ Journal は、下水道分野で働く女性であればどなたでも参加できる下水道広報誌です。皆さまからの記事をお待ちしています。記事を寄稿いただける方は GJ リンク事務局までご連絡ください。

GJ リンクホームページ

<http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

※ GJML 会員は、随時募集中。詳しくは、GJ リンク HP まで

GJ リンク

検索

GJ Journal 創刊号

平成 28 年 1 月発行

発行：下水道広報プラットフォーム (GKP)

編集：下水道広報プラットフォーム (GKP) 事務局

制作：下水道広報プラットフォーム (GKP) 事務局
(公社) 日本下水道協会 広報課

下水道は生活を支えるインフラであり、多様な利用者の視点に立った事業運営のためにも下水道業界での女性のますますの活躍が欠かせません。しかし女性職員の少ない職場も多く、気軽に話せる同僚がいない、ロールモデルとなる先輩女性が少ない等の悩みをもつことも多いようです。

そこで下水道広報プラットフォーム (GKP) 内に女性同士の繋がりを支援する場として「下水道分野で働く女性の会 (愛称：GJ リンク)」が設置され、国土交通省下水道部職員も本会の設置趣旨を踏まえアドバイザーとして参画しています。単に繋がるだけでなく、様々な企画を通して情報発信や企画・運営などのスキルアップを図る取り組みも始まっています。

GJ リンク事務局

日本下水道協会内

GKP 事務局 (広報課) 内

TEL:03-6206-0205

URL : <http://www.gk-p.jp/gjlink/GJ-Link.html>

